

3. 道府県婦人防火クラブ連絡協議会会長だより

向こう三軒両隣

愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会 毛利 美恵子



「ただいまより宇和島市地震、津波初動訓練を開始します」これは平成15年10月に『南海地震今から備えよう！全市民で』を合言葉に当市で実施された大規模な訓練です。

私が婦人防火クラブの活動に参加するようになったのは、昭和43年の宇和島湾地震での体験からです。

当時私は子供が生まれたばかり。深夜突然地面の底から突き上げてくるものすごい衝撃に、ただなすすべもなく、子供をかばって布団をかぶりじっとしていただけでした。このときほど時間が長く感じられたことはありません。主人の「大丈夫か」の声に我に返りましたが、周りが真っ暗闇で何も見えません探し出した懐中電灯の明かりで周りの様子が少しずつ分かってきました。寝室も隣の部屋も台所も家財が倒れて大混雑、家は新築間もない平屋建てでしたので、壁がひび割れたくらいです済みました。

その後、何度も襲ってくる余震に震えながら子供をしっかりと抱いておりました。

そのうちに停電も直り明るくなった部屋を見て、家財道具の散乱状態に呆然としておりました。

そんな中、近所の人たちが「大丈夫ですか」と声をかけてくださったのです。向こう三軒両隣とはよく言ったものです。この言葉のおかげで余震の恐怖が和らいだことを覚えております。このときから近所付き合いの大切さを考えさせられました。

以後、各会合で地域における連携強化やコミュニティの実現を呼びかけております。今年も十月に大規模訓練が実施されます。

近い将来に南海地震(マグニチュード8クラスの巨大地震)が確実に発生すると言われております。住民の高齢化やコミュニティの意識の希薄化等により災害は増大し、当地区で死傷者は最大2,500人を超えると予測されております。

『自分たちの地域は自分たちで守る』この想いをクラブ員は常に意識して持って、防災力の向上と啓発活動にがんばっています。

(消防庁機関紙「消防防災／2004－7・夏季号」より転載)

▲ [このページの上に戻る](#)